

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

November / 11 / 2016 # 44

---

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

---

## INDEX

[1] 旬な話題、気になる話題

『いろいろ来日』

[2] Pepeのひとりごと

『水抜き』

[3] おすすめ動画

『Eugene Bozza New Orleans』

『Happy Birthday Variations for Euphonium and Piano by P.Heidrich』

[4] 演奏のヒント！

『シラブル』

[5] 編集後記

---

[1] 旬な話題、気になる話題

『いろいろ来日』

「芸術の秋」ということなのでしょうか、このところ話題の来日が続いているような気がします・・・年中、日本というところは各国の有名なグループが毎年来日して素敵な公演をしてくれる、とても環境のいい国ですよ（笑）。

今年の話は、何と言ってもブラスバンド（吹奏楽ではない、本物のブラスバンド＝英国式金管バンド＝です）のBlack Dyke Bandの

来日でしょう！

僕は聴きに行けていないのですが（大阪公演はなかった・・・涙）、日本でのブラスバンド人気は僕の思っていた以上で、各県から東京に聴きに行った人たちがたくさんいました（うらやましい！）。

YouTubeで各国のいろいろな演奏がいつでも聴ける（観れる）この時代ですが、ライブ（生）で接することが一番なことは間違いありません。

今月も、フランスを代表するオーケストラ、「パリ管弦楽団」の来日を控えています。

パリ管弦楽団のTuba奏者、Stephane（Labeyrie氏）は同じ門下で、何かの折には仲良くしてもらっています。 ;)

今回、彼のレッスンやマスタークラスの通訳をやらせてもらうことになって、一日一緒に過ごす時間を持てるのですが、今からいろいろと楽しみです！！

みなさんも、普段なかなか触れることのできない生のいい演奏にたくさん触れて、芸術の秋を満喫してくださいね～！ :D

## [2] Pepeのひとりごと

### 『水抜き』

なかなか涼しくならないね～なんて少し前まで話していたと思ったら、急に気温が低くなってきましたね。

そうなってくると、金管楽器吹きにとって気にしないといけなくなってくるのが、管内に溜まってくる水のこと。

僕は、この水抜きに関してはかなり気を使っています。

理由は、演奏中に水が溜まっている音（ポコポコっていう感じの音）を聴きたいと思っている人はいないと思っているからです。

（ましてや、それが楽譜に指示として書かれていることはほとんどない！）

自分の生徒たちにはレッスンの際に言っていることなのですが、例えば、憧れの奏者のコンサートのチケットを何千円というお金を払って聴きに行き、ドキドキして聴くその第1音目の音が水が溜まっててポコポコっていう音だと、ショックを受けると思いませんか？？

僕は、演奏家として（プロアマ問わず）こういう思いを聴衆にさせてはいけないと普段から強く思っています。

寒くなってくると、楽器を吹いたときに管内の空気がすぐに温まり、その温度差によって管内に水滴ができすぐに水が溜まってきます。

そうすると、僕たちにできることはと言うと頻繁に水抜きをして、ポコポコっとなってしまう最悪の状態を避けることですよね。

あと一つ、水抜きをする際にウォーター・キィというクリップのような水抜きをする穴から水を抜くことが多いのですが、これをする際に注意してもらいたいことがあります。

それは、そこから水抜きをするときに、ちゃんとその穴が下を向いているかどうかの確認です。

もう一つは、その際に息を強く吹き込む人が多くいるのですが、息を吹き込むのが強すぎる場合、管内の水はその出るべき穴を通り過ぎて外に出ないことが多くあると思われます。

ちゃんと水を管の外に出すことを目的としてやってもらいたいなあ、と僕は一人思っています（笑）。

ぜひ、この冬はポコポコなしで過ごしてみましよう～！ :D

### [3] おすすめ動画

『Eugene Bozza New Orleans』

[https://www.youtube.com/watch?](https://www.youtube.com/watch?v=XqPUgYotUf0&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=6)

[v=XqPUgYotUf0&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=6](https://www.youtube.com/watch?v=XqPUgYotUf0&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=6)

今月の1つ目の動画は、フランスの作曲家E.Bozza作曲のBass Tromboneのための曲、「New Orleans」の演奏です。演奏者は、僕の友人の1人であるハンガリー人のBass Trombone奏者、Matyas Veer氏。

この演奏はコンクールでのライブ録音のようです。

きれいな音で、全てのニュアンスがとてもわかりやすく、かつ個性的な演奏ですね。:)

このように、自分らしさをしっかりを出しているソロ演奏は好きです！:)

興味を持った人は、ぜひやってみてくださいね～！

『Happy Birthday Variations for Euphonium and Piano by P.Heidrich』

<https://www.youtube.com/watch?v=Shr9bJ0Y3-l>

2つ目の動画は、僕自身のものを（笑）。

大阪に引っ越してからというもの、なかなか動画を録るような時間が取れないまま1年とちょっとが経ちました。

今回、久しぶりに動画撮影を試してみました。

曲は、新しくアレンジをした「ハッピーバースデー」を主題とした変奏曲です。

それぞれの変奏は、いろいろな作曲家のスタイルになっていて面白くなっています。

印刷、製本は終わり販売する準備は整っているのですが、実はオンラインショップの準備がまだできていません・・・（涙）。

一日も早く準備を整えて、みなさんのもとへ届けられるようにしようと頑張っています！！

販売開始となったときには、ブログやSNSでお知らせしますね！！

#### [4] 演奏のヒント！

##### 『シラブル』

みなさん、「シラブル」という言葉を聞いたことはありますか？

（うまく説明するのが難しいのですが）「シラブル」とは、楽器で音を出しているときに、口の中で発音をしている言葉、ということです。例えば、「TATATATA」とか「DUDUDUDU」とかです。

このシラブルですが、演奏をする上でとても重要な働きをしているので、決して軽くみないようにしてもらいたいと僕は思っています。

では、このシラブルというのは何をどう変化させているのでしょうか？

それは、音色や発音の種類を変えることに大いに作用しています。演奏を豊かにするためには、発音や音色の種類がたくさんあるというのはとても大切なんです。

また、音の長さの調節にもこのシラブルの活用が生きてきます。どのシラブルで演奏するかによって、「普通に」吹く時の音の長さが変わってくるんですよ！（ぜひ試してみてください）

複数人で音の長さを揃えようとする場合に、ぜひシラブルの統一を試してみてください。

音の長さを「長め、短め・・・」という感覚でやっても合わないことって意外と多いのですが、シラブルの統一をするだけでこの問題が解消されることは多いんですよ。;)）

音階でもメロディーでもいいので、同じフレーズを違うシラブルで演奏してみることをオススメします！

また、そうすることをぜひ習慣づけてみてくださいね！

自分の演奏の幅、可能性が広がりますよ！！;)）

---

## 編集後記

あっという間にもう11月も10日が過ぎていきましたね。  
あと今年も残るは約7週間。

今年のうちにはやろうとっていて、まだやっていないことは  
ありませんか？  
まだほとんどのことは今からやったのでも間に合うと思いますよ！  
今すぐやり始めましょう～！ :D

そういう僕は、動画のところでも書きましたが、新しい楽譜の  
オンラインショップの準備を早く終えたいところ。  
明日からまたオーケストラの公演で家を少し離れるのですが、  
言い訳をしないで、コツコツ前進していこうと思います！

---

阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト

<http://www.pepeabe.com>

ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ！

[info@pepeabe.com](mailto:info@pepeabe.com)